

中国厦門市派遣留学報告書

宜野湾市派遣留学生

第 14 期生 西原真紀子



1. はじめに

平成27年度 宜野湾市海外留学生派遣事業 14期生の西原真紀子です。
今回第14期生として、2015年9月から2016年7月末までの約一年間の中国派遣留学での中国語習得、学校生活、中国の方達との交流、中国文化、中国の生活習慣など、留学期間に体験、経験したことなどをご報告いたします。

2. 留学先・期間

- ・厦門理工学院(アモイ理工学院) 国際教育学院基礎漢語学科
- ・2015年9月7日 ~ 2016年7月31日

・厦門理工学院について

厦門理工学院は厦門市の中心部である厦門島の対岸にある集美区にあり理工系の4年制大学です。

中国福建省と厦門市が1981年に共同で設立した公立四年制大学で、現在20の学部と47の学科等があり、学生数2万1千名以上、教員数1,000名を超える大きな大学です。国際交流も盛んで、日本をはじめアメリカ、イギリス、カナダ、韓国、フィリピン、マレーシアなど20か国以上の大学との連携を保っている国際色豊かな大学です。



3. 厦門市について

厦門(アモイ)は福建省南部に位置する港湾都市です。中国の5大経済特区の一つで、副省級市に指定されています。省レベルの経済管理権限と地方立法権を有し、先進工業都市として、また、国内でも有名な海湾風景都市としても知られており、国際観光都市として発展しています。「世界一住みやすい都市」「国際花園都市」などと呼ばれています。

厦門市の主要部は厦門島で、思明区・湖里区・集美区・海滄区・同安区・翔安区の6市区によって構成されています。市区人口167万人、厦門市街地には約100万人が生活しています。

中国語の読みでは、「シアメン」と読みますが、「アモイ (Amoy)」の読みは、この地方の方言である閩南語 (ミンナン語) での発音が「アモイ (Amoy)」に近いとのことで、また「華僑発祥の地」として、この地から多くの華僑が世界各地へと広がって行った為、「アモイ (Amoy)」の名が広く知られたようです。



4. 志望理由

宜野湾市の交流派遣留学に応募したきっかけは、以前、沖縄の歴史を学んだ時、琉球の歴史の中で中国の文化、習慣の影響を受けていることが分かり、沖縄の文化、習慣の原点になっている中国に興味を持ち、昔の琉球の人達が中国に行きどのような影響を受けたのかを実際に自分の目で確かめてみたいと思い、そんな中で、5、6年程前から市報に載っていた「宜野湾市海外留学生派遣事業」を見ており、歴代の留学生の方々のレポートを楽しみに読み、友好都市であるアモイ市で様々な中国文化に触れ、語学を学び多くの中国の方達と交流が出来たらと思い応募しました。

5. 留学前の準備

合格の連絡から出発までの約2か月間、健康診断書の提出、ビザの手続き、厦門理工学院への就学書類の手続き、海外保険などの調べ、予防接種などの準備。また、中国語は全くの初心者だったので、留学出発までの間、宜野湾市の中国語講座を受けました。

6. 留学においての目標

- 1) 中国語の習得
- 2) 中国文化や習慣の理解
- 3) 中国の方達との交流

7. 学校生活について

【寮生活】

中国の大学は殆んどが全寮制という事で、厦門理工学院でも中国の学生、留学生は皆学校内の寮で住みます。寮の建物は男子寮と女子寮に分かれており、また留学生は寮の最上階のフロアと決まっており、二人一部屋になっています。部屋には、シングルベッドと勉強机が各二つあり、バスルームとトイレが完備されてました。キッチンが完備されて無く、寮の部屋で料理をする事は禁止されてました。また各フロアにコイン洗濯機があり天気の良い日は順番待ちになるほどフル回転になります。また各フロアには給湯器があります。



【食事】

食事は、ほとんど学校内にある食堂で食べていました。学内には4つの食堂があり、中はフードコートのような造りになっていて、麺類や鍋料理、おかずを選ぶ事が出来たりと色々な種類の料理があり、お気に入りの料理を探したりと毎日の食事が楽しみでした。また、寮の近くや学校の裏門の近くには色々な屋台やお店があり、屋台で食べ物を買ったり、外のお店では大皿でいくつか注文して皆で食べたりととても楽しい食事になります。



【授業】

クラスは、ビジネスクラスと基礎クラスの2コースがあり、私は基礎クラスからスタートし、韓国、ジブチ、トルコ、チリ、スイス、ナイジェリア、インドネシアから来た留学生達と一緒に勉強しました。授業は、英語と中国語の二か国語で授業を進めていきます。また、授業には中国の学生のサポーターが入り発音の練習や、分からない所があると説明をしてくれたりと留学生が楽しく授業が出来るようにサポートしてくれました。また、語学以外にも書道、中国絵、太極拳などの中国の文化も学びました。

① 書道

日本の漢字と書き方が少し違い先生から書き順などを習いました。



② 中国絵

中国の伝統的な手法で水で薄く溶かした絵具を乾いたら重ねてを繰り返して塗っていくと段々と色が出てきます。

③ 太極拳

・太極拳の九つあるの基本的な型の流れを一つずつ習いました。授業が始まるとまず始めにストレッチから入ります。クラスの皆、私を含め身体が硬くストレッチの時点で息切れをしてました。



【時間割】

<上学期（前期）>

节次		月	火	水	木	金	土	日
上午	1限	中国社会 概况 (中国社会概况)	初级汉语 口语 (会话)	初级汉语 精读 (リーディング・ 読解)	初级汉语 听力 (リスニング)		休日	休日
	2限							
	3限	汉字读写 (読み書き)		初级汉语 口语 (会话)	初级汉语 听力 (リスニング)	初级汉语 精读 (リーディング・ 読解)		
	4限							
お昼休み								
下午	5限	书法欣赏 与实践 (書道)			中国美術 欣赏 (美術)	太极拳理 论与实践 (太極拳)		
	6限							
	7限			中国美術 欣赏 (美術)				
	8限							

<下学期（後期）>

节次		月	火	水	木	金	土	日
上午	1限	中级汉语 口语 (会话)	中级汉语 听力 (リスニング)				休日	休日
	2限							
	3限	中级汉语 口语 (会话)	中级汉语 听力 (リスニング)	中级汉语 精读 (リーディング・ 読解)	中级汉语 精读 (リーディング・ 読解)			
	4限							
お昼休み								
下午	5限	跨文化商 务交流 (文化・ビ ジネス交 流)			汉语写作 (作文)			
	6限							
	7限							
	8限							

【課外活動】

・ < 社会科見学 >

後期のクラスで「中西文化の比較」の授業があり、毎週、美術館や、醤油工場、車の展示会、陶芸家の工房、幼稚園に訪問したり、美術品を扱うお店に出掛けたりとクラスメイト皆でバスに乗り出掛けとても楽しかったです。



・ < 日本語学科の学生との交流会 >

週に一度、二時間ほど日本語学科の生徒さん達と、日本語で会話をし、日本の事や沖縄の話など、また私が中国に来て不思議に思った事などを質問したりととても楽しい交流会でした。帰国前には皆で厦門にある日本の居酒屋に行き送別会をしてくれたりと、日本語学科の皆さんに良くしてもらいました。



・ < 毎週水曜日の中国語・文化サークル >

ボランティアで留学生に中国語や中国の文化、今、中国で流行っている事など学生さん達が準備をして色々教えてくれました。



・<茶道サークル>

同じ日本人留学生の方が中国の学生さん達に茶道を指導しており、私もほぼ毎週お作法を習うと言うよりはお抹茶をいただきに行っていました。(でも、少しはお作法も習いました。)

8. 【一年間の流れ】

<2015年>

9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厦門へ到着 ・ 入寮 ・ 2015 厦門国際投資貿易商談会 (CIFIT) 参加 ・ 厦門市内見学 ・ 留学生始業式 ・ 前期授業開始 ・ 新入生歓迎会 ・ 新入生軍事訓練 (中国の新入生のみ)、新入生軍事開会式参加 ・ 中秋節
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国慶節 (一週間の祝日) ・ 泉州 '海上丝绸之路' 沿线文化旅游活动 ・ 佐世保高専との交流会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 香港旅行 ・ 運動会 ・ 宜野湾市役所訪問団 厦門理工学院訪問
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2015 年福建省高校国際及港澳台橋学生才艺展演 ・ 先生の家で年越し餃子 ・ 新暦の年越し

<2016年>

1月	・ 期末テスト ・ 冬休みスタート ・ インドネシア旅行 ・ 土楼へ観光
2月	・ 春節 ・ 春節時中国の友人宅でお正月を迎える
3月	・ 後期授業開始 ・ 清明節
4月	・ 外国語学科の授業発表に参加
5月	・ 労働節 ・ 上海へ旅行
6月	・ 端午節 ・ 期末テスト ・ 夏休みスタート ・ 台湾へ旅行
7月	・ 厦門の観光地めぐり ・ 泉州へ観光 ・ 金門島へ観光 ・ 7月末に帰国

9. 中国で感じた事・不思議に思った事

・ 友達や知り合いに会うと「你吃饭了吗?」、「吃饭了吗?」(ご飯食べた?)と必ず聞いてきます。最初は食事のお誘いかな?と思いましたが、その声掛けは、日本で言う「今日は天気が良いですね」的な事に近い社交辞令的な声掛けの様です。

・ 中国の学生さんは、朝ご飯に良く温かい豆乳を飲みます。皆、朝の授業に行くときテイクアウトして食べながら教室に向かいます。また、朝御飯には、お粥を良く食べます。

・ 学校の先生方はコンテストや発表会などがとても好きです。

・ 中国の方達は、散歩を良くします。夕食の後、皆でおしゃべりをしながら散歩に行きます。

・ 中国のバスでは乗車の際、順番良く乗りません。皆、我先にと競争で乗ります。し

かし、お年寄り、妊婦さん、小さい子供を連れた人達がいると直ぐに席を譲ります。
このギャップの差がありとても不思議でした。

- ・食事の際、鳥の骨や魚介類の殻などはテーブルの上にそのまま置きます
- ・バスやタクシー、自家用車、バイクなどうるさいくらいクラクションをよく鳴らします。車線変更を知らせる為に鳴らすようです。
- ・山登りを良くします。家族で登ったりするようです。楽な服装で登ります。

10. 帰国後の取り組み

- ・中国語講座に毎週参加し、中国語のヒヤリングや、発音を続けて勉強しています。

11. 終わりに

中国での一年間はとても濃く楽しい一年でした。また、新しい発見と出会いがあり、色々な方達と縁で繋がった一年だったと思います。中国の方々の親切と温かさにとっても助けて貰いました。「百聞は一見に如かず」です。実際、中国に行き自分の目で確かめるのと人から聞く話とは全然違います。今まで想像していた中国とは違っていました。また、他の国の留学生と交流が出来た事はとても良い経験になりました。宜野湾市の派遣留学生として厦門へ行き経験した事は私自身、成長出来たと思います。このご縁を大切に今後留学での経験を活かして行けたらと思っています。

宜野湾市の皆さま、宜野湾市市役所の皆さま、一年間ありがとうございました。